

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	のため・べっぴ		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 10日		2025年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	128	(回答者数) 94
○従業者評価実施期間	2024年 1月 15日		2025年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 14
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	契約時面談、支援計画書、支援面談について丁寧に取り組むことができている。	契約時に支援内容を詳しく説明し、保護者の意向を丁寧にヒアリングしている。 定期支援面で話し合い、子どもの成長や状況に応じた計画の見直しを行っている。	支援計画面談を年に数回実施し、保護者とのコミュニケーションの機会を増やす。 保護者が支援計画の進捗状況を確認できるよう、定期的なフィードバックの機会を設ける。
2	子どもの意思を尊重し、保護者のニーズを支援に反映し共有することができている。	保護者の意見や要望を日々の支援に取り入れるため、職員間での情報共有を徹底している。	保護者との個別相談の機会を増やし、より深い連携を行う。
3	運動を中心とした活動プログラムになっている。子どもたちがのびのび活動できるよう、十分なスペースを要している。	室内でも十分な運動ができるよう、広い活動スペースを確保している。 体を動かすプログラムを定期的に見直し、子どもが飽きることなく楽しめる工夫をしている。	より多様な運動プログラムを導入し、子どもたちの興味・関心に応じた選択肢を増やします。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常災害に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているが、保護者の方へ行っていることを周知することがまだ足りていない。	訓練の実施状況を保護者に伝える機会が少なく、認識が広がっていない。	避難訓練の実施結果を、おたよりやホームページで定期的に報告する。
2	保護者やきょうだい同士の交流の機会が少ない。	保護者の交流会は定期的に開催しているが、開催日が平日ということもあり、ご参加いただくことが難しいご家庭がある。	ご要望があれば、休日等で開催を検討していく。きょうだいの交流会も同様。
3	保育所やこども園、幼稚園との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がない。	現在通所児童が保育所や幼稚園からの通所になっているため。	ご要望があれば開催の検討をしていく。